

まえがき

本書では、情報セキュリティを学ぶにあたり、その意識付けを高めることを目的として、さまざまな内容を幅広く取り上げました。もちろん、個々の内容においてはより深い知識を得る必要も出てくると思います。その際には本書で紹介したブログやサイト、あるいは専門書などの文献を参照してください。また、本書で取り上げた攻撃事例は執筆時点での情報であるため、新しい未知の攻撃が生み出されたり、あるいは新たな防御の手段が必要になるかもしれませんが、基本的な考え方、取り組み方は本書で述べたとおりです。で、問題が発生した場合は、まず落ち着いて状況を把握し、情報を整理してみてください。

はじめに、これだけは伝えておきたいことがあります。攻撃の仕組みを理解するということ、これは目的を変えれば自分自身が攻撃者にもなりうる、ということです。しかし、正しい目的をもってすれば、その知識は世界中からやってくるサイバー攻撃に対する防御の盾に変わります。皆さんは今、私たちを守る正義のハッカーになるための入り口に立っています。

悲しいことではありますが、今もなお日々未知なるマルウェアが数多く生み出され、また攻撃手法も巧妙になり悪質化している現実があります。私たちの生活を取り巻く重要インフラ、たとえば、電気・ガス・水道などのライフライン制御のためのネットワークが構築されています。もし、このネットワークが悪意を持った人たちに乗っ取られたとしたらどのようなことが起きるでしょうか。これは

想像するだけでも恐ろしいことです。このように、今まであまり意識されていなかった場面においても、サイバー攻撃の脅威が迫りつつあります。

しかし、安心してください。私たちからは見えない場所で、多種多様なサイバー攻撃と戦い続けている正義のハッカーたちがたくさんおり、気づかないうちに私たちを助けてくれています。最近では、情報セキュリティに関する勉強会やイベントなどが全国各地で開催されているだけでなく、安全保障や防衛といった視点から、国としても優れた情報セキュリティ人材の育成に取り組むさまざまなプロジェクトを遂行しています。

そしてもう1つ、情報を一度でも外に出してしまうと二度と元の何もなかった状態に戻すことは不可能であるという意識をもつようにして下さい。これは、特別なシステムで利用される情報に限らず私たちの生活に身近な SNS や Twitter のメッセージや写真などの情報も同様であるということです。

最後に、インターネットは単に攻撃がやってくるだけの場所ではありません。未知なる攻撃に挑む際に必要となる優れた有用な情報が、世界中あちこちに膨大に散りばめられています。日頃から有用なサイトやブログなどにアクセスするといった習慣をつけるのもいいと思います。まずは、皆さんができることから始めてみて下さい。そして、友達同士や家族などで情報を共有していきましょう。情報セキュリティの意識を高く持ち続ける気持ちが、私たちの生活をより安全に、より快適にしていくための大きな力となるのです。

2016年1月

猪俣敦夫